



一打一打に魂込めて!
～あいさいさん祭り～



愛西市

AISAI CITY
ASSEMBLY

議会だより

No.59
2020.2.1

12
月
定
例
会

特集 子ども医療費助成拡大へ	2
議論の中から新発見	3
一般質問 ～市政を問う～	5
イキイキコーナー 第3回 愛西ジュニア	21
取材しました! 佐織特別支援学校	22

子ども医療費 助成拡大へ

●保育無償化で生まれた財源を 活用

「愛西市子ども医療費支給条例の一部改正」により医療費の支給年齢を引き上げます。15歳年度末までは完全無償化、18歳年度末までは入院費は全額、通院費は3分の2を償還払いします。

Q 改正の経緯は。

A 消費税引き上げによる保育の無償化によりできた財源に一般財源を上乗せして、子育て世代の経済的負担の軽減となるよう、今回の一部改正に至った。

区分	現行（3月まで）	変更後（4月から）
小学生まで	無償	無償
中学生	入院費：全額	無償化
	通院費：2/3	
中学校卒業後から18歳年度末	なし	入院費：全額
		通院費：2/3

▲4月からの変更点

	15歳年度末まで	18歳年度末まで
愛西市	○	○ (一部)
津島市	○	○ (所得制限)
弥富市	○	—
あま市	○	—
蟹江町	○	—
大治町	○	—
飛島村	○	○

▲近隣市町村の状況

Q 今後のスケジュールは。

A 新たに現物給付の対象が中学校卒業までに拡充することから、3月頃に0歳から15歳までの対象者に対し、15歳の年度末までの「受給者証」を送付する。
16歳から18歳年度末までの対象者には、子ども医療費助成拡大による償還払いのお知らせを送付する。

Q 拡大にあたり懸念されることはあるのか。あれば、対処方法は。

A 医療機関に容易にかかった場合、医療費の増加が懸念される。そのため、適正受診については、啓発を図る必要があると考えている。

Q 本市に住民票がない場合は受給できるのか。また、本市内に住民票を移動した場合の対象となるのか。

A 本市に住民票がない場合は受給できる。また、本市内に住民票を移動した場合は対象となる。

議論の中から新発見

在宅障害者扶助料の支給要件が変更されます。

令和2年4月1日より、65歳以上の新たな障害認定者は、扶助料の支給対象外となります。

Q 65歳以上の障害認定者の実績は。

A 平成30年度で、65歳以上の新規障害認定者は、145人。身体障害者127人、精神障害者18人だ。

Q 現在、身体障害者が利用可能な福祉サービス及び、自己負担額は。

A 居宅介護、グループホーム、就労支援などの利用や車椅子、義足などの補装具の交付が可能だ。障害児は、障害発達支援などの障害児通所支援が受けられる。自己負担は、原則1割となっている。

Q 新規認定者は、30年度実績で145人である。引き続き扶助を行うことができたのではないか。

A 障害者扶助全体を見ると、24年度では、約7億7千万円であったが、30年度では、14億2千万円に増額している状況を踏まえ、今回の改正とした。

Q 新規認定者を対象外としなくても、扶助料を近隣自治体並にする方法もあったのでは。

A 在宅障害者の福祉サービスの充実や利用度などを検討し、扶助料は既に生活費の一部となっているので、今回の改正とした。

討論

賛成

年齢制限は適切だ

障害者総合支援法の施行により、地域で暮らすための福祉サービスの充実が図られ、当初の扶助料の目的は概ね達成できた。現在、支給対象者の扶助料は、生活の一部になっており、劇的な変更は混乱を招く恐れがある。今回、65歳以上の新規障害者手帳取得者を対象外とした判断は適切な措置である。

反対

安易に年齢でラインを引くな

新たに障害者となる方全てが、年金支給額が多いわけではない。障害者となった方も年齢に関係なく、介護サービスや生活にかかる費用は同じだ。仮に、扶助費の削減が必要であれば、世帯所得により判断すべきだ。安易に65歳という年齢でラインを引くのは不公平だ。

討論

賛成

答申を尊重すべきだ

愛西市特別職報酬等審議会の答申を受け、議員月額報酬を改定する条例が提案され議論しました。

審議経過

議案質疑および委員会内で議論を重ねたが、最終日に、一部の議員からこの議案に対する修正動議の提出があった。

この修正案の趣旨説明後、修正に対する根拠や原案が可決されたときの反対議員の対応など、議員間討議をした。議論の後、修正案は、賛成少数で否決、原案は賛成多数で可決した。

反対

市民負担の中で合意は得られない

合併特例の縮減を理由にして、市民生活に負担をかけている。合併特例の縮減が想定より少ないことを答申理由の一つとするなら、各種施策の再検討をすべきだ。消費税増税の影響もあり、負担の増えた生活の中から支払われた税金を議員報酬の値上げにあてることは、市民の合意を得られない。

令和元年12月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

議案	審議結果	新生愛西クラブ									日本共産党愛西市議団			あいさいクラブ		公明党あいさい		無会派	無会派
		鬼頭勝治	島田浩	鷲野聡明	神田康史	杉村義仁	近藤武	佐藤信男	原裕司	石崎誠子	真野和久	河合克平	加藤敏彦	大宮吉満	山岡幹雄	竹村仁司	高松幸雄	吉川三津子	馬淵紀明
愛西市部設置条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
愛西市公益的法人等への職員の派遣に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(修正案)	否	●	●	議	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(原案)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市在宅障害者扶助料支給条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市佐屋老人福祉センター「湯の花の里」の指定管理者の指定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市佐織総合福祉センターの指定管理者の指定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市中央図書館の指定管理者の指定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度愛西市一般会計補正予算(第4号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度愛西市一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子ども医療費完全無料化を求める請願について	不	●	●	議	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※審議結果の「可」は可決、「否」は否決、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

◆◆◆推薦◆◆◆

市の推薦を適任としました。

■人権擁護委員候補者
近藤 裕重氏(西保町)
山内 潔氏(測高町)

◆◆◆同意◆◆◆

次の任命に同意しました。

■教育委員会委員
大竹 節雄氏(北河田町)

◆◆◆意見書◆◆◆

今定例会で次の意見書が採択されました。

■国への意見書
▼国民健康保険の国庫負担抜本的引き上げや出産手当・傷病手当の予算措置を行うことを求める意見書

市政を問う

13議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり1時間です。

●定例会第2日目および第3日目に、13人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

12月5日

石崎 誠子 議員 (P6)

- ◆道の駅周辺整備基本計画策定後の業務は
- ◆誘致企業社の定着と雇用の確保は

馬淵 紀明 議員 (P7)

- ◆避難勧告等はどうに変わったのか
- ◆駅周辺の防犯対策は

河合 克平 議員 (P8)

- ◆財政健全化の評価は
- ◆くらしに希望を

加藤 敏彦 議員 (P9)

- ◆発達支援センター建設のスケジュールは
- ◆リニア残土 搬入は本当に安全か

真野 和久 議員 (P10)

- ◆地域ごとに地区防災計画を検討しては
- ◆学校統廃合見直しの時期では

原 裕司 議員 (P11)

- ◆全国学力テスト 愛西市の調査結果は
- ◆成年後見制度の利用促進を

島田 浩 議員 (P12)

- ◆食品ロス削減への取り組みは
- ◆増える墓じまい どう対応していく

12月6日

近藤 武 議員 (P13)

- ◆立田グラウンド整備 市の考えは
- ◆今後の子育て支援策は

山岡 幹雄 議員 (P14)

- ◆住民票を異動して死亡、市斎苑の利用は
- ◆マイ・タイムライン 実施の考えは

佐藤 信男 議員 (P15)

- ◆40年来の願い 佐屋駅前周辺整備計画は

吉川 三津子 議員 (P16)

- ◆高齢者居場所である入浴サービスを守れ
- ◆海部地区環境事務組合の改革は

高松 幸雄 議員 (P17)

- ◆スピード感を持って校舎の老朽化対策を

竹村 仁司 議員 (P18)

- ◆領内川の2カ所の重要水防箇所は

道の駅周辺整備基本計画 策定後の業務は

石崎 誠子議員



令和4年度から整備し順次供用開始する
産業建設部長

問 道の駅周辺整備の基本計画策定後の業務スケジュールは。

答 測量・地質調査を行い、基本設計、実施設計と順次業務を進める。都市公園の整備計画エリアでは、事業説明会を経て、都市計画手続きを行い、用地取得に向け事業を進める。現段階の目標は、令和4年度から道の駅リニューアル部分を先行して整備を進め、順次供用開始する。

問 どの世代の新規利用者を想定しているか。

答 若年層、子育て世代の女性等の来場者数増加を目指す。そのために、新たに観光案内所の設置、子育て世代の女性を応援する施設の設置を検討している。

問 新規利用者獲得に向けた観光案内所の役割は。

答 来訪者に対しての情報発信機能の強化を図る。

本市の魅力を広く発信し、新規利用者獲得のために、きめ細かい地域情報、観光情報を提供し、来訪者の満足度を高め、リピーターの増加を期待する。

問 花はす田と水辺を生かした愛西市でしか出来ない体験を提供することとして、ウェディングドレスや和装で新郎新婦が

好きな場所で結婚式前に撮影したり、婚活イベントの開催など、公園を利用することは可能か。

答 愛西市都市公園条例により、行為の目的、内容等が都市公園の利用に支障を及ぼさないと認める場合に限り、利用等を行うことができる。



▲道の駅デンパーク安城に隣接する「安城産業文化公園」での結婚式前撮り風景

誘致企業社の
定着と雇用の
確保は

問 誘致企業社に対する市の雇用促進優遇制度は。

答 南河田工業団地へ事業所を新設した企業に対して、雇用促進奨励金制度がある。操業後1年以上継続し、新規常用従業員を雇用した場合、1人年間15万円を2年間分、1企業限度額1200万円まで支援する。

問 誘致企業社と既存地域企業社とを繋ぐ市の役割、政策等は。

答 誘致企業社と既存地域企業社を繋ぐビジネスマッチングの機会の提供といった振興政策を図る。



避難勧告等は どのように変わったのか

馬淵 紀明議員

5段階の警戒レベルに改定

市民協働部長



▲警戒レベルのチラシ

問 避難勧告等に関するガイドラインが改定されているが、どのように変わったのか。

答 災害情報を分かりやすく提供するため、昨年の6月より、5段階の警戒レベルで市民に提供することになった。

問 市町村が発令する避難情報、また、国や都道府県が発令する防災気象情報、どちらが優先なのか。

答 市町村が発令する避難情報は、国や都道府県が発令する防災気象情報よりも優先される。

駅周辺の防犯対策は

問 市内の駅（駐輪場）の防犯カメラの設置状況は。

答 佐屋駅1台、日比野駅2台、永和駅7台、藤浪駅5台、勝幡駅8台。

問 市町村が5段階の警戒レベルを発表する。

答 全てを勘案して、市町村が5段階の警戒レベルを発表する。

問 町方駅、淵高駅、富吉駅には設置していないが、設置していく計画は。

答 安心・安全の面も含め、今後検討していく。

問 市長の見解は。

答 犯罪発生の度合いや危険などを総合的に判断し、検討していく。

その他の質問

●成年後見制度とは



▲町方駅の駐輪場

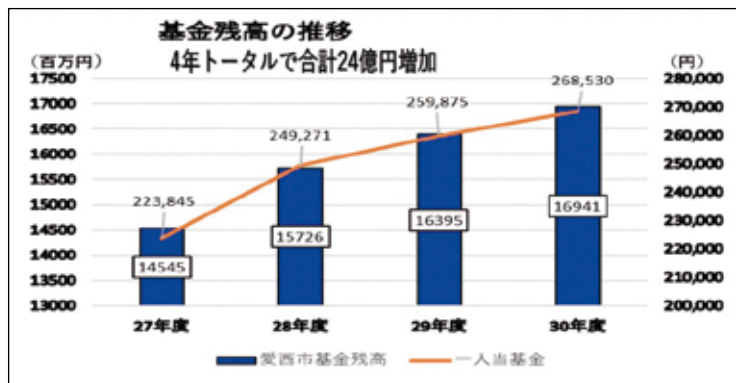
財政健全化の評価は

河合 克平議員



健全な状態であるといえる

総務部長



▲本市の基金の状況

問 交付税の状況は。
答 想定していた縮減額より少ない状況である。

問 基金の状況は。
答 169億4100万円、5億円増加している。同規模団体と比較して基金は多いほうである。

問 起債残高の状況は。
答 193億6300万円と昨年より12億4100万円減少し、毎年10億円以上減らしている。

問 財政健全化の評価は。
答 健全な状態であるといえる。

答 無償化する考えはない。

問 小中学校の給食費の無償化の考えは。

答 医療費完全無償化の考えは持っていない。

問 子ども医療費の18歳年度末までの完全無償化の考えは。

ない。

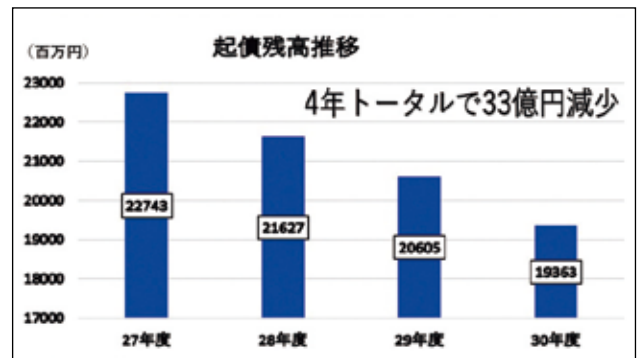
くらしに希望を

問 佐屋駅前・日比野駅前周辺整備の状況は。

答 佐屋駅前は、事業化調査に向け検討を進める。日比野駅前の整備計画は

答 5割減額については今年度で終了となる。

問 施設使用料5割減額を継続する考えは。



▲本市の市債の状況



発達支援センター 建設のスケジュールは

加藤 敏彦議員

令和2年度に設計を予定している
健康福祉部長



▲豊明市「はばたき」のリーフレット

問 市長は9月に、発達支援センターについて建設を表明したが、スケジュール、体制、事業内容、予算はどのように考えているか。

答 令和2年度に設計を予定している。事業内容は、「あいさいわかば」で行っている児童発達支援事業に加えて、相談支援事業、保育所等訪問支援事業を行う。体制は、国の基準に準じ、専門職を配置する予定だ。

問 豊明市は2018年に、ひきこもり相談窓口「はばたき」を開設した。社会福祉協議会に相談員2名を配置し、支援件数は536件である。引きこもり支援事業について、どのように考えているか。

答 大人の引きこもりについては、市社会福祉協議会の活動の中で、支援へとつなげている。

問 リニア新幹線の建設残土が、永和荘跡地の広域避難場所に使われることが報道されたが、本当に安全か。

**リニア残土
搬入は本当に
安全か**

答 愛知県に確認したところ、JR東海が土壌汚染対策法で定められた土質検査を実施している。JR東海のホームページで確認ができる。



▲防災活動拠点の整備計画図(大井町)



全国学力テスト 愛西市の調査結果は

原 裕司 議員

小中学校共に県平均を上回る
教育部長

小学校			
国語		算数	
1位	秋田県	1位	石川県
2位	石川県	2位	秋田県
2位	福井県	2位	東京都
47位	愛知県	33位	愛知県
		46位	宮崎県
			北海道

中学校					
国語		数学		英語	
1位	秋田県	1位	福井県	1位	東京都
2位	石川県	2位	石川県	1位	神奈川県
2位	福井県	2位	秋田県	1位	福井県
		2位	富山県	4位	石川県
				4位	静岡県
				4位	兵庫県
17位	愛知県	5位	愛知県	7位	愛知県

▲全国学力テスト調査結果

問 全国学力テストの調査結果が、都道府県別に発表された。本市における児童・生徒の結果は。

答 中学校では、愛知県が数学・英語において全国の上位となった。本市においては、小中学校共に県平均を上回った。

問 小学校の調査結果では、愛知県は全国で下位となっている。国語科における平均正答率の低い区分と指導改善は。

答 平均正答率の低い漢字については、正しく使うための、「読み方」「字形」「漢字のもつ意味」を考へることの習得が大切だ。

問 小学校に学力向上のため、教科担任制や乗り入れ授業等の考えは。

答 学年の一部の教科を教科担任制で行うことは可能だ。乗り入れ授業は、学級数や教員数、各学年の授業時間の違いがあり導入は困難だ。

成年後見制度の利用促進を

問 市民に研修を行って、知識を学んでもらい後見人になってもらう「市民後見人養成講座」を定期的に開催している自治体もある。本市でもこのような取り組みについて進めていく考えは。

答 「市民後見人養成講座」は県内10市町で実施している。後見人人口の裾野を広げるメリットもあるが、複雑な案件を任せられないというデメリットもある。近隣市の状況を見て研究していく。

その他の質問

●継続可能な介護保険制度を目指せ

食品ロス削減への 取り組みは

島田 浩議員



啓発及び知識の普及などに努める

産業建設部長



▲消費者庁の啓発パンフレット

問 食品ロスの削減の推進に関する法律が令和元年10月1日に施行された。国・県も挙げて推進しているが、市はこの問題について周知し、どのような取り組みを考えているか。

答 消費者や事業者等が、食品ロスの削減について理解と関心を深めると共に、それぞれの立場から取り組むことを促進するよう、教育及び学習の振興、啓発及び知識の普及などに努めていきたい。

問 市は法律上、努力義務となっている計画の策定を考えているか。

答 国の基本方針が策定され、それに基づき県が計画を策定することも想定されるため、その動向を見て検討していく。

問 墓地を返還された場合の永代使用料は。

答 「未建立」の場合と違って返還金が発生しないことを丁寧に説明し、受理していく。

増える墓じまい
どう対応していく

問 ますます墓じまいや継承者不明の墓が増えていくようだが、今後、市はどのような対処を施していくのか。

答 ますます墓じまいや継承者不明の墓が増えていくようだが、今後、市はどのような対処を施していくのか。最低限の市営墓地は必要と考える。規模としては、現行のまま当面維持管理していく。



▲津島市との共同霊園



立田グラウンド整備 市の考えは

近藤 武議員

人が集まる交流拠点へ
教育部長

問 公益財団法人愛知県サッカー協会から、西尾

張地区の拠点として、立田総合グラウンドの芝生多目的グラウンド整備の協議申し入れ書が出され、愛西市も同意した。今後のスケジュールは。

答 現在、協議中だ。

問 現在のグラウンド利用者への影響は。

答 協議を進めていく中で、地域のスポーツ団体及び地域への調整もしながら、理解が得られるようにしていく。

問 現在の立田グラウンドに係る経費は。

答 過去3年間の平均で、支出は約760万円、収入は、約44万円だ。

問 この整備に対する、市の考えは。

答 施設の老朽化が問題となる中、県サッカー協会と協力して、公共施設のリノベーションの先進モデルとなることを目指す。また、地域スポーツの活性化や市に人が集まる交流拠点としての施設になることが期待できる。

今後の子育て支援策は

問 9月議会前に新生愛西クラブ、あいさいクラブ、公明党あいさいの3

会派で、高校生までの医療費助成拡大について、要望書を出し、今議会に関連議案が出た。医療費助成はどうなるのか。

答 幼保無償化により、これまでの保育費用の財源の活用が可能になった。

保育園等の副食代補助の残りの財源の一部に一般財源を上乗せする。令和2年度から、子ども医療費の支給年齢を拡大し、子育て世代の経済的負担の軽減となるよう、支援の充実を図る。

問 子ども医療費助成拡大後、本市の水準は。

答 県内自治体と比較しても、手厚い助成になる。

問 今後の支援拡充は。

答 子ども医療費のほか、子育て世代への支援策は、様々ある。分析をしながら、事業実施をしていきたい。



▲今後、整備対象となる立田総合グラウンド

住民票を異動して 死亡、市斎苑の利用は

山岡 幹雄議員



住所地特例適用者は市斎苑を利用できる
市民協働部長



▲総合斎苑

問 介護老人福祉施設の待機高齢者はいるか。
答 市内4施設で269人の待機者がいる。

問 待機高齢者の対策は。
答 待機高齢者の状況を十分に把握し待機者が出ないように努める。

問 住民票を異動して市外の介護施設に入居後、死亡した場合、市総合斎苑を利用できるか。

答 *住所地特例適用者は、市民と同じ全額で利用できる。

※住所地特例とは。社会保険制度において、被保険者が住所地以外の市町村に所在する介護保険施設等に入所または入居することで施設等の所在市町村に住所変更した場合、住所を移す前の市町村が引き続き保険者となる特例措置のこと。

マイ・タイムライン 実施の考えは

問 水害に対する意識の向上を図るために電信柱や公共施設に想定冠水の表示ができないか。
答 市内の112カ所に海抜表示看板を設置し、対応。

問 「マイ・タイムライン」(自分の命は自分で守



▲マイ・タイムラインとは
(国土交通省関東地方整備局下館河川事務所HPより)

その他の質問

●ゴミポイ捨て罰則規定とは

「とは、台風の接近により洪水時に自分自身がとる防災行動を時系列的に整理する行動計画表だ。これを作成できないか。
答 マイ・タイムラインは考えていない。



40年来の願い 佐屋駅前周辺整備計画は

佐藤 信男議員

地域の理解をもらい進めたい

市長

	藤浪駅	勝幡駅	佐屋駅
平成29年度 乗降客数(人)/日	4,523	2,947	4,280
駅前広場(m ²)	5,100	(北)5,100 (南)1,600	都市計画の 見直し
事業期間(年)	16	12	未定
事業費(円)	19億6,800万	20億560万	未定

▲新設駅との比較

問 佐屋駅前周辺整備は、昭和53年に都市計画決定された。その内容は、

答 佐屋駅前広場は、鉄道の西に駅前広場として約2千m²、東に約2600m²の規模で計画。鉄道と県道の交差部分は、道路が鉄道の下を横断する立体交差形式である。

問 都市計画決定の変更はできるのか。

答 整備の方向性の見直しと必要性や配置、構造等の検証を行い、変更理由を明確にすればできる。

問 都市計画決定を変更するための手順は。

答 都市計画基礎調査や交通調査等を経て、計画案を整理する。都市計画

問 佐屋駅を含めた佐屋駅前周辺整備は、利用者や近隣居住者にとっては、過去40年以上も前からの願いだ。何か計画は。

答 名鉄は、安全対策や駅舎の改修等を検討している。整備を進めるには、

素案の作成、住民説明会、都市計画案の縦覧、県都市計画審議会への付議、国への同意協議などを経る。

地域、地権者、隣接地権者等の理解と協力がなければできない。計画策定や事業決定には時間が必要。理解をもらい進めたい。



▲現在の佐屋駅

高齢者居場所である 入浴サービスを守れ

吉川 三津子議員

佐屋・佐織の入浴施設は維持する方針だ

健康福祉部長



▲愛西市の入浴施設分布地図

問 サロン、訪問・通所サービスなど多種多様な高齢者の居場所を守っていかねばならないが、入浴サービスの利用状況は。

答 1日あたりの利用者は、佐屋老人福祉センターが350人、佐織総合福祉センターが120人、八開総合福祉センターが35人。立田北部コミュニティセンターは121人、立田南部コミュニティセンターは99人。

問 利用者の居住地域、年代、性別は。

答 年代・性別は集約していない。

問 高齢者のみの世帯や、独り暮らし、生活保護の方の利用もある。また、サロンへの参加の少ない男性にとっては、風呂は交流の場だ。市は、風呂が故障したら廃止してしまうのか。

海部地区 環境事務組合の 改革は

答 佐屋・佐織の福祉センターは、利用者も多いので維持し、八開総合福祉センターは修理できなくなったら廃止する。コミュニティセンターはニーズや費用対効果も検証し、検討する。

● 組合の八開処分場に、あま市が費用負担すべき汚水が運び込まれ、年間800万円の支出。

● 組合幹部の業者からのスナック接待。

答 津島市のことは改善の意見を述べている。あま市のことは初めて聞いた。八開処分場については注視していく。接待の件は吉川議員から聞いたが、正確な内容は把握していない。

問 海部地区環境事務組合の行革は進んだか。

答 適正な予算執行がされているときいている。

問 入札制度の課題のほかにいろいろな情報が届いているが市長は知っているか。

- 契約無しで組合の土地を津島市に無償貸与。
- きれいな水の放流に対し、汚水並みの料金を契約無しで津島市へ支払い。
- あま市が支払うべき最終処分費を組合が支払っていること。



スピード感を持って 校舎の老朽化対策を

高松 幸雄議員

改めて早急に検討していきたい

教育長

問 本市は合併以後の14年間で小・中学校の児童・生徒数が全体で2割、立田地区、八開地区に限れば3割も減少している。25年後には今の半数になつてしまう。

9月21日に立田地区、八開地区の小・中学校の統合に関する第2回地域説明会が開催された。八開地区の住民には、統合して何がよくなるのか、不安感が募り、デメリツトばかりが先行しているのではないかと感じる。なぜ、立田地区と八開地区を合わせて1校に統合する案となつたのか。

答 立田地区、八開地区の児童・生徒数の減少は著しいものがあり、適正規模とはならない。学校を新設する以上、この先50年間の児童・生徒数を見据えて検討しなければならぬことは当然である。規模の適正化に最も即した案であると考えている。

問 校舎の老朽化が待つたなしの状況にある。鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数は約50年と言われているが、立田地区、八開地区の小・中学校の校舎は築何年が経過しているか。

答 立田南部小59年、立田北部小57年、立田中50年、八輪小41年、開治小40年、八開中44年。

問 立田南部小学校と北部小学校はこのままだと築60年を超えるが、校舎は大丈夫か。

答 校舎自体の老朽化は避けられず、壁のひび割れや雨漏りが多く、トイレも昔のまま、一部床の配管が詰まって水が流せないなど、在校児童に我慢をしてもらいながら使ってもらっている。

問 校舎の老朽化対策は、スピード感を持って対応していくべきではないか。

答 本来にスピード感を持って当たらなければいけない。特に立田地区の小学校の校舎は、限界が近づいている。立田以外の学校も築50年を超える学校が目立っている。適切な教育環境を確保する観点から、校舎の老朽化は、改めて早急に検討していきたい。



▲老朽化が進む立田南部小学校(築59年)

領内川の2カ所の重要水防箇所は

竹村 仁司議員



必要な川幅は計画以上確保されている
産業建設部長



▲草平橋から見た領内川(草平町地内)

問 海部建設管内で本市に関する領内川の2カ所の重要水防箇所は。

答 町方町地内の名鉄尾西線の名鉄橋と草平町地内の草平橋だ。

問 重要水防箇所の解除のために県はどのように動いているのか。

答 必要な川幅は計画以上確保されているものの、橋梁の高さが低くなっていることから指定されている。

領内川の改修については、佐織庁舎北にある稲沢市内の巡見橋上流右岸堤において堤防を改修する事業が進められている。この事業のめどがつき次第、草平橋について改築に向けた調査等を進める予定。

問 国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所では、立田町福原地区の避難所に対して、何か整備事業計画を考えているのか。

答 木曾川水系河川整備計画では福原地区内の農村環境改善センター付近に、防災拠点として、盛土による地盤の造成、ヘリポートの整備等をする計画となっている。市においても、その計画の早期整備を要望している。



▲領内川にかかる尾西線の名鉄橋(町方町地内)

委員会行政視察報告書

総務文教委員会 10月28日～29日
建設福祉委員会 11月13日～14日
広報特別委員会 10月 2日～ 3日



▲テラス石森(福島県田村市)

◆学校統廃合と廃校利活用

総務文教委員会

福島県田村市に「廃校利活用の現状と今後の課題」について行政視察を行いました。

常葉地区の小学校3校、中学校1校の立地条件を活かした併設型の小中一貫教育を例に説明をうけました。学校運営協議会

を設置し、保護者及び地域住民の学校運営の参画や連携強化を進めることにより、地域住民との信頼関係を深めていきました。廃校の施設は有効な活用方法が見つからず、遊休施設となっているものも多いです。そこで、事業を特定せずに民間事業者等の自由な発想による提案を募ることにしました。廃校利活用の基本的な考え方として、周辺住民から理解が得られ、雇用や地場産業の創出、コミュニティの醸成など、地域にメリットがある事業を条件としました。

◆防災機能と子育て支援のある道の駅

建設福祉委員会

道の駅「パレットピア おおの」(岐阜県揖斐郡大野町)の特徴は、本来の道の駅の機能である物品販売と観光資源による情報発信に加えて、子育て支援施設「子育てハウスパステル」及び防災機能を組み合わせたとこ

ろにあります。町総人口の4.9倍もの利用者があり、その内の町外利用者が約90%もあります。交通の便を生かした計画が如実に効果を発揮していると感じられました。

活用により、成功を収めています。有効求人倍率も1.6倍を超え地域トップクラスの成果を上げています。

◆企業誘致で雇用拡大(駒ヶ根市)

先行投資で成約率をアップさせ、中規模以上の企業を誘致し、製造業を主体として雇用の吸収力を高めています。「駒ヶ根雇用対策協議会」を設立し、地元資源の有効



▲長野県駒ヶ根市

◆議会モニター制度を採用

広報特別委員会

埼玉県戸田市は、「議会モニター制度」を採用し、その中で出た意見を元に、「議会だより」の内容を改善しています。委員会活動の掲載の仕方、議会や議員の活動について疑問に答える「議会を知っ！o.c.o.」聞きたい・知りたい・議会のしごと」を連載し、議会

◆みみ丸カフェ開催

所沢市では、「議会だより」を活用し、議会報告会を実施しています。内容としては、議案質疑を中心に行われています。また、公聴広報のマス

コットキャラクター「みみ丸」を活用し、議会の公聴機能強化の一環として、市民と議員の懇談会「みみ丸カフェ」を開催しています。「議会だより」を見てもらう機会を増やす取り組みとして、SNSを利用し、情報発信にも力を入れています。「広報をするうえで、公聴が重要だ」ということを改めて、学びました。



▲埼玉県所沢市

◆永和保育園リニューアル工事視察

建設福祉委員会



▲永和保育園

令和2年4月より指定管理者へ運営移行のために、現在リニューアル工事をしています。事前修繕の進捗状況を視察しました。施設は昭和49年に建てられ、老朽化が進んでいました。今回、内外装や幼児用トイレ・廊下等を整備していました。



▲使いやすくなったトイレ

◆文化祭でアンケート「議会だより」誌面改善

広報特別委員会

11月2日、愛西市文化祭の佐屋・佐織会場で、「議会だより」の誌面改善アンケートを行いました。来場者に以前の誌面とどちらが見やすいか、シール投票をしてもらい、要望を聞きました。

11月2日、愛西市文化祭の佐屋・佐織会場で、「議会だより」の誌面改善アンケートを行いました。来場者に以前の誌面とどちらが見やすいか、シール投票をしてもらい、要望を聞きました。

シール投票は、両会場合わせて205人でした。投票者からは、「カラーになって見やすくなった」「市民を紹介するページが良いです」「もう少し字が大きいと読みやすい」など様々な意見が出されました。ご協力ありがとうございました。



▲シール投票



▲佐織会場でのアンケート

イキイキコーナー

第3回 愛西ジュニア

愛西ジュニア活動

活動日は 土、日、祝
場所は 北河田小学校他
部員数は 1年生 2人
2年生 8人(女子2) 3年生 7人
4年生 3人 5年生 9人(女子1)
6年生 5人
練習時間は 8時30分から4時30分
大会は、1日、1試合から2試合
指導者は 多くの父兄の協力で行っている

指導者から一言

礼儀や挨拶がしっかりでき、笑顔あふれるチームを目指しています。中学・高校・大学などいつまでも野球を大好きでいてほしい。

楽しいことは

コーチに褒められた
試合で、ホームランを
打った
試合で、すべて塁に出た



入部した きっかけは、

友だちに誘われた
弟と一緒に入った



現在・将来の 目標は

全ての大会で優勝したい
野球を続けて甲子園に
出場したい

チームの 目標は

県大会出場

望みは

野球を広めてほしい
専用野球場が欲しい
応援してほしい
仲間が増えてほしい



チームのモットーは 常突野球。



開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・
送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)

〈住所〉〒496-0805 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第16回取材しました!
高校編②

愛知県立佐織特別支援学校

ひとりひとりの自立する能力を高める

知的障害のある児童生徒が通う学校で、小学部・中学部・高等部があります。各学年に応じた教育を行っていますが、それに加えて障害のある児童生徒の自立を促すために必要な教育を受けることができるのが大きな特徴です。

Q 教育目標は。

A ひとりひとりの児童生徒の能力や特性に応じ、健康な体とたくましい心を育て、明るく豊かな心情を養い、円満な人格の形成を図ると共に、生活に必要な知識、技能、態度、習慣を養い、自立する能力を高めます。

Q 児童生徒は何人ですか。

A 小学部80人、中学部56人、高等部124人です。

Q 通学エリアは、どこですか。

A 津島市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、愛西市です。愛西市からは、44人が通学しています。

Q 卒業生の就職は。

A 一般企業に2割ほど、障害福祉サービス事業所へ8割ほどです。

Q 今後の課題と対応は。

A 昭和54年開校ですので、校舎の老朽化が激しく、維持管理に苦慮しています。また、在校生が、それぞれ育ってきた地域とのつながりを、どう継続できるようにするのが課題の一つです。

最近では、知的障害に加えて、発達障害の児童生徒が増加傾向にありますので研修を行い、日々専門性の向上に努めています。センターの機能を発揮するべく地域の小・中学校の教員等も対象に教育相談を行っています。



令和2年3月定例会の開催予定

2月 27日(木) 本会議(招集日) 議案上程

3月 4日(水) 本会議(第2日) 一般質問

3月 5日(木) 本会議(第3日) 一般質問

3月 10日(火) 本会議(第4日) 議案質疑

3月 12日(木) 総務文教委員会

3月 13日(金) 建設福祉委員会

3月 23日(月) 本会議(最終日) 討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

3月10日(火) 午前10時～・午後7時～

3月11日(水) 午前10時～・午後7時～

- 本会議は午前9時30分から開催します。
- 常任委員会は午前9時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

私たち、議会広報委員は「議会だより」が「親しみやすく、わかりやすく、読みやすく」をモットーに毎号、改善や工夫をしながら、ひとりでも多くの方に議会での出来事を身近に感じていただけるよう心掛けて編集に取り組んでいます。

今号では、市の文化祭開催日に広報委員で議会だよりに関するアンケート調査を実施した結果を掲載しました。今後の紙面づくりに反映させてまいります。ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。結びに「議会だより」が市民の皆さまにとって市政に関心を深めていただける一助となれば幸いです。

(高松 幸雄 記)
委員長 近藤 武
副委員長 高松 幸雄
委員 真野 和久
佐藤 信男
原 裕司
馬淵 紀明